

東の窓

目に美しく
耳に美しく
心に美しく



2学期が始まりました

子どもたちの元気な姿が学校に戻ってきました。

土・日曜日を含め41日間という長い夏休みでしたが、大きな事故やけがもなく子どもたちが過ごすことができたのも、保護者の皆様や地域の皆様のおかげであると感謝しております。

しかし、新型コロナウイルス感染症は依然として猛威をふるっています。本県においても、本日より9月12日まで、緊急事態宣言が発出されました。それに先立ち8月8日よりまん延防止等重点措置が適用され、感染警戒レベルを最上級のステージ「特別警戒」に引き上げられました。これを受けて滋賀県教育委員会が発表する「地域の感染レベル」という学校の行動基準も1から2へあがりました。学校での各教科における学習は、マスクの着用や教室の換気、休み時間後の手洗い等の感染対策を行っていますが、「感染症対策を講じてもなお、感染リスクの高い学習活動」として、以下のものがあげられます。

- ①各教科に共通する活動として「児童が長時間、近距離で対面形式となるグループワーク等」及び「近距離で一斉に大きな声で話す活動」★
- ②理科における「児童が近距離で活動する実験や観察」
- ③音楽科における「室内で児童が近距離で行う合唱及びリコーダーや鍵盤ハーモニカ等の管楽器演奏」★
- ④図画工作科における「児童同士が近距離で活動する共同制作等の表現や鑑賞の活動」
- ⑤家庭科における「児童同士が近距離で活動する調理実習」★
- ⑥体育科における「児童が密集する運動」★や「近距離で組み合ったり接触したりする活動」★
(★はこの中でも特に感染リスクの高いもの)

これらの活動は「地域の感染レベル」に応じて、実施の可否を決定します。従って、「地域感染レベル」が2の場合は、上記活動のうち、★印の活動（特に感染リスクの高い活動）は実施を慎重に検討します。なお、緊急事態宣言が発出されている間、屋内で50名以上が集まる活動（学年集会、学年体育等）は原則行いません。運動会の屋内練習は、換気をし、学級単位で、密を避け、間隔を充分とって行います。この「地域の感染レベル」は、レベル1からレベル3までの3段階に分けられており、感染状況や医療提供体制等の状況を踏まえて一週間ごとに滋賀県教育委員会が決定し、ホームページ上で公表されます。つまり、状況も刻々と変わり、行事等の実施の可否や内容なども変わっていきます。

地域の感染レベル	身体的距離の確保	感染リスクの高い教科活動
レベル3	できるだけ2m程度 (最低1m)	行わない
レベル2	できるだけ2m程度 (最低1m)	リスクの低い活動から 徐々に実施
レベル1	1mを目安に学級内で 最大限の間隔を取る	十分な感染症対策を 行った上で実施

しかしながら、先行きが不透明なときだからこそ、分からないことに心を縛られすぎないようにして、目の前の「今やること」、「やるべきこと」を、一つひとつきちんと誠実にやり遂げていくことが大切だと思います。そうすることで、気がつけば、難しいことも解決したり乗り越えられたりできると考えるからです。

新しい生活様式を引き続き実践しながら、全ての子が確かな力をつけ「やる気」あふれる2学期となるよう指導に努めていきます。「実りの秋」として、稲穂や果実の実りのように、子どもたちが努力して取り組んだことが実を結び、子どもたちの力を「伸ばすこと」ができ、「できることが増えた」2学期にしてまいりたいと思います。

今学期もご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。